

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
麻酔学講座
研究責任者： 野口 智子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 集中治療管理中の覚醒試験・離脱試験が予後に与える影響の検討

研究の目的

集中治療管理中、過度な鎮静や不必要な人工呼吸器の使用を避けるために覚醒試験や人工呼吸器離脱試験を施行することがあります。当院では2022年4月より、集中治療室入室中の人工呼吸器使用患者に対してプロトコルを使用した覚醒試験・離脱試験を行っております。プロトコルの導入に伴い、より早期の人工呼吸器離脱が予想されますが、その一方で術後経過への影響は検討されておられません。私たちは、プロトコル導入に伴うメリット・デメリットを明らかにし、より安全な覚醒試験・離脱試験のプロトコル作成を目的として今回の研究を行います。

研究実施期間 2023年1月27日～2028年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方 2021年1月1日～倫理委員会承認日までの間、附属病院心臓血管外科科を受診し、心臓手術を受け、集中治療室に入室した方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、手術時間や麻酔時間、人工呼吸器使用時間や集中治療室入室期間について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、人工呼吸器使用時間と集中治療室入室期間についてプロトコルの導入前後で違いがあるかどうか検討します。そのほか、早期に人工呼吸器を離脱したことで合併症が増えていないか、呼吸状態や循環動態への影響、せん妄や中枢神経系の合併症についても比較し、プロトコルが安全に施行されているか検討していきます。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

外部への試料・情報の提供

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。

患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

大学院医学研究科麻酔科学講座・野口智子
0172-39-5113/nogusato1110@hirosaki-u.ac.jp